

## 管理帳簿日報・月報(抜粋)

4月の業務開始までに、該当するフォーマットをダウンロードし、保存してください。  
選別事業者については、パターンが3つあるため、自社の形態にあったものを選択してください。

## &lt;初期設定シート&gt;

	A	B	C
1			
2	ここに入力することで、すべてのシートに表示されます		
3	ジョイントグループ名		
4	事業者名		
5	工場名		
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	<注意事項>		
13	*この日報月報は、一事業者、工場一つの方用に作成されています。		
14			
15	*複数の工場もしくはジョイントグループを複数お持ちの方はファイルをコピーして別の名前で保管してください。		
16			
17	*日報を正しく入力することで、月報には自動的に数値が入力されますので月報シートに新たに		
18	数値をご入力いただく必要はありません。		
19			
20	*協会へ報告の際には、このファイルのシートを削除することなくアップロードしてください。		
21			
22	*複数工場もしくはジョイントグループを複数お持ちの方は、それぞれのファイルをアップロードしてください。		
23	REINSで、ファイルのアップロードは3つまで可能です。3つ以上の場合、圧縮してください。		
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
	初期設定<選別1>	選別1(月報)	29年4月   29年5月   29年6月   29年7月   29年8月   29年9月   2

ここに入力する事ですべてのシートに表示されます。

このシートに基本情報を入力をします。どのシートも削除することなく、ブック全体で保存してください。

**※工場事業者名、工場名は必ず入力してください。**

管理帳簿日報(平成29年度分)  
〔選別1〕 一般用

平成29年 4月

ジョイントグループ名:	●●第一グループ
事業者名:	●●株式会社
再生処理施設(工場)名:	本社工場

(単位:kg)

日	引取先 (市町村名)	※引取量 (市町村スケール計量値)	①引取量 (貴社工場スケール計量値)	②選別実施量 (④+⑤+⑥)	③選別残 (③+①-②)	④異物			⑤製紙原料選別量				⑥固形燃料化原料選別量			⑦選別作業(注4)				
						再資源化量 (注1)	産廃処理 対象量	処分量	処分残	板紙・段 ボール原紙 向け	家庭紙等向け	出荷量(貴社 工場スケール 計量値)(注2)	出荷残	販売先	引渡し	引渡し先	製紙原料出荷に 対応する販売量 (製紙会社スケール 計量値)(注3)	作業 人員	作業 時間	作業量(kg/ 人/時間)
前月繰越																				
1日				0	0				0						0					#DIV/0!
2日				0	0				0						0					#DIV/0!
3日				0	0				0						0					#DIV/0!
4日				0	0				0						0					#DIV/0!
26日				0	0				0						0					#DIV/0!
27日				0	0				0						0					#DIV/0!
28日				0	0				0						0					#DIV/0!
29日				0	0				0						0					#DIV/0!
30日				0	0				0						0					#DIV/0!
合計				0	0		0	0	0		0	0	0		0	0				0
						異物混入比率(④/②)	#DIV/0!	製紙原料比率(⑤/②)	#DIV/0!	固形燃料化原料比率(⑥/②)	#DIV/0!									

販売内容に対応した選別実績を入力してください。

引渡し先を入力してください。

この数値が、REINS引取実績報告で入力する値となります。

この数値が、REINS販売実績報告で入力する値となります。

↑ REINS入力値

↑ REINS入力値

下記の内容をご確認の上、選別作業を実施し、上表の各項目欄に記入してください。

※引取品は、[製紙原料]・[固形燃料化原料]・[異物(番線、段ボール、牛乳パック、一般古紙等の再資源化品)]・[異物(産廃処理対象品)]に選別してください。

※引取、選別、出荷、引渡、処分を実施した日のみ、実施した内容に関する項目を記載してください。実施していない内容に関する項目は空白としてください。

※選別を実施した場合に異物等の発生量がない場合には、0を記入してください。

※日報を記載した日の各残量を確認してください。エクセル計算値と実測値に相違があった場合は、実測値を手入力してください。

※複数の再生処理施設(工場)で再生処理を行う場合には、再生処理施設(工場)毎に作成してください。

(注1)異物の再資源化量 ⇒ 番線、段ボール、牛乳パック(紙パック)、一般古紙等(これらは紙製容器包装分別基準適合物ではありません)で産廃処理せずに資源として販売する量。

(注2)出荷量 ⇒ 再生処理施設から販売先へ出荷する際の再生処理施設での計量値を記入します。販売量(販売先の工場での受入時の計量値等)ではありません。

(注3)製紙原料出荷に対応する販売量 ⇒ 販売先の工場での受入時の計量値等 = 協会への販売実績量報告値

(注4)選別を実施した日には、その選別作業人員と概略の選別作業時間を30分単位で記入して下さい。(例:作業人員4人の場合は4と記入、作業時間が13時~16時30分の場合は3.5と記入)

グレー部分は、エクセル自動計算の式を組んでいます。エクセル計算値と実測値に相違があった場合、実測値をエクセルに手入力し、余白に相違理由を明記してください。

管理帳簿日報(平成29年度分)  
[選別2]指定保管施設を兼ねている工場用

平成29年 4月

ジョイントグループ名	●●第一グループ
事業者名	●●株式会社
再生処理施設(工場)名	本社工場

月/日	引取先(市町村)	①分別収集量 (注1)	②選別実施量 (前選別を含む) (注2) (④+⑥+⑦)	③選別残 (注3) (①-②)	④異物 (注4)	⑤引取量(分別基準適合物) (注5) (②-④)	⑤製紙原料選別量				固形燃料化原料			選別作業(注8)				
							製紙原料等		販売		⑦固形燃料化原料選別量	引渡し		製紙原料出荷に対応する販売量(製紙会社スケール計量値)(注7)	作業人員	作業時間	作業量(kg/人/時間)	
							板紙・段ボール原紙向け	家庭紙等向け	出荷量(貴社工場スケール計量値)(注6)	出荷残		販売先	引渡先					引渡し先
前月繰越																		
1日			0	0		0						0						#DIV/0!
2日			0	0		0						0						#DIV/0!
3日			0	0		0						0						#DIV/0!
4日			0	0		0						0						#DIV/0!
26日			0	0		0						0						#DIV/0!
27日			0	0		0						0						#DIV/0!
28日			0	0		0						0						#DIV/0!
29日			0	0		0						0						#DIV/0!
30日			0	0		0						0						#DIV/0!
合計		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
							製紙原料比率(⑥/⑤)	#DIV/0!				固形燃料化比率(⑦/⑤)	#DIV/0!				↑REINS入力値	

販売内容に対応した選別実績を入力してください。

引渡先を入力してください。

この数値が、REINS引取実績報告で入力する値となります。

この数値が、REINS販売実績報告で入力する値となります。

下記の内容をご確認の上、選別作業を実施し、上表の各項目欄に記入してください。

※引取、選別、出荷、引渡しを実施した日のみ、実施した内容に関する項目を記載してください。実施していない内容に関する項目は空白としてください。

※選別を実施した場合に異物等の発生量がない場合には、0を記入してください。

※日報を記載した日の各残量を確認してください。エクセル計算値と実測値に相違があった場合は、実測値を手入力してください。

※複数の再生処理施設(工場)で再生処理を行う場合には、再生処理施設(工場)毎に作成してください。

(注1)①分別収集量 ⇒ 一般家庭から収集したもので、市町村が中間処理を行い分別基準適合物にする前のものの量

(注2)②選別実施量 = ④異物 + ⑥製紙原料等選別量 + ⑦固形燃料化原料選別量

(注3)③選別残 ⇒ 分別収集品在庫量 = ①分別収集量 - ②選別実施量

(注4)④異物 ⇒ 分別基準適合物[紙製容器包装]以外のものの量(段ボール、牛乳パック、一般古紙等の再資源化物および市町村処理場持込(戻し)廃棄物等の量)

(注5)⑤引取量 = ②選別実施量 - ④異物 = ⑥製紙原料等選別量 + ⑦固形燃料化原料選別量

(注6)出荷量 ⇒ 再生処理施設から販売先へ出荷する際の再生処理施設での計量値を記入します。販売量(販売先の工場での受入時の計量値等)ではありません。

(注7)製紙原料出荷に対応する販売量 ⇒ 販売先の工場での受入時の計量値等 = 協会への販売実績量報告値

(注8)選別を実施した日には、その選別作業人員と概略の選別作業時間を30分単位で記入してください。

(例:作業人員が4人の場合は4と記入、作業時間が13時~16時30分の場合は3.5と記入)

グレー部分は、エクセル自動計算の式を組んでいます。エクセル計算値と実測値に相違があった場合、実測値をエクセルに手入力し、余白に相違理由を明記してください。

管理帳簿日報(平成29年度分)

平成29年 4月

[選別3]指定保管施設を兼ねており、かつ他の市町村の保管施設からの引き取りも行っている工場用

ジョイントグループ名	●●第一グループ
事業者名	●●株式会社
再生処理施設(工場)名	本社工場

※市町村がスケールを持っていない場合は、貴社工場スケール計量値を記入

販売内容に対応した選別実績を入力してください。

月/日	引取先(市町村)	自らが指定保管施設になっている市町村からの持込					その他の市町村からの引き取り					製紙原料				固形燃料化原料			選別作業(注10)				
		①分別収集量(注1)	②選別実施量(前選別を含む)(注2)(④+⑩+⑪)	③選別残(注3)(①-②)	④異物(注4)	⑤引取量(注5)(②-④)	※引取量(市町村スケール計量値)	⑥引取量(貴社工場スケール計量値)	⑦選別実施量(注6)(⑨+⑩+⑪)	⑧選別残(注6-⑦)	⑨異物		⑩製紙原料選別量		販売		⑪固形燃料化原料選別量	引渡し		製紙原料出荷に対応する販売量(製紙会社スケール計量値)(注9)	作業人員	作業時間	作業量(kg/人/時間)
											再資源化量(注7)	産廃処理対象量	処分量	処分残	板紙・段ボール原紙向け	家庭紙等向け		出荷量(貴社工場スケール計量値)(注8)	販売先				
前月繰越				0																			
1日				0	0			0										0					####
2日				0	0			0										0					####
3日				0	0			0										0					####
4日				0	0			0										0					####
26日				0	0			0										0					####
27日				0	0			0										0					####
28日				0	0			0										0					####
29日				0	0			0										0					####
30日				0	0			0										0					####
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	####

この数値が、REINS引取実績報告で入力する値となります。

この数値が、REINS販売実績報告で入力する値となります。

↑REINS入力値↑  
引取量合計→

↑REINS入力値↑

下記の内容をご確認の上、選別作業を実施し、上表の各項目欄に記入してください。

※「自らが指定保管施設となっている市町村からの持込」と「その他の市町村からの引き取り」については、選別作業に伴う記入内容が異なります。上表の項目欄にしたがって記入してください。

※「自らが指定保管施設となっている市町村からの持込」と「その他の市町村からの引き取り」の作業が同じ日であっても行を変えて記載してください。

※選別完了までは、指定保管施設分とその他の市町村分を明確に分けて管理して下さい。

※引取、選別、出荷、引渡、処分を実施した日のみ、実施した内容に関する項目を記載してください。実施していない内容に関する項目は空白としてください。

※選別を実施した場合に異物等の発生量がない場合には、0を記入してください。

※日報を記載した日の各残量を確認してください。エクセル計算値と実測値に相違があった場合は、実測値を手入力してください。

※複数の再生処理施設(工場)で再生処理を行う場合には、再生処理施設毎に作成してください。

(注1)①分別収集量 ⇒ 一般家庭から収集したもので、市町村が中間処理を行い分別基準適合物にする前のものの量

(注2)②選別実施量 = ④異物+⑩製紙原料等選別量+⑪固形燃料化原料選別量

(注3)③選別残 ⇒ 分別収集品在庫量=①分別収集量-②選別実施量

(注4)④異物 ⇒ 分別基準適合物[紙製容器包装]以外のものの量(段ボール、牛乳パック、一般古紙等の再資源化物および市町村処理場持込(戻し)廃棄物等の量)

(注5)⑤引取量 = ②選別実施量-④異物=⑥製紙原料等選別量+⑦固形燃料化原料選別量 = 協会への販売実績量報告値

(注6)⑦選別実施量 = ⑨異物+⑩製紙原料等選別量+⑪固形燃料化原料選別量

(注7)異物の再資源化量 ⇒ 番線、段ボール、牛乳パック(紙パック)、一般古紙等(これらは紙製容器包装分別基準適合物ではありません)で廃棄処理せずに資源として販売する量。

(注8)出荷量 ⇒ 再生処理施設から販売先へ出荷する際の再生処理施設での計量値を記入します。販売量(販売先の工場での受入時の計量値等)ではありません。

(注9)製紙原料出荷に対応する販売量 ⇒ 販売先の工場での受入時の計量値等 = 協会への販売実績量報告値

(注10)選別を実施した日には、その選別作業人員と概略の選別作業時間を30分単位で記入してください。(例:作業人員が4人の場合は4と記入、作業時間が13時~16時30分の場合は3.5と記入)

グレー部分は、エクセル自動計算の式を組んでいます。エクセル計算値と実測値に相違があった場合、実測値をエクセルに手入力し、余白に相違理由を明記してください。

ジョイントグループ名:	●●第一グループ
事業者名:	●●株式会社
再生処理施設(工場)名:	本社工場

(単位:kg)

月/日	引取先 (市町村)	引取量(市町村スケール計量値)	引取量(貴社工場スケール計量値)	プロセス投入量					材料リサイクル製品					固形燃料化原料				所要時間 (注3)	
				前処理異物			材料リサイクル製造工程投入量		プロセス投入残 (紙製容器包装)	再商品化製品製造量	出荷量(貴社工場スケール計量値)(注2)	出荷残 (紙製容器包装)	販売先	固形燃料化原料選別量	引渡先(貴社スケール計量値)	引渡残	引渡し先		
				再資源化量(注1)	産廃処理対象量	処分量	処分残	紙製容器包装											他材料
前月繰越																			
1日								0					0						
2日								0					0						
3日								0					0						
4日								0					0						
26日								0					0						
27日								0					0						
28日								0					0						
29日								0					0						
30日								0					0						
合計								0					0						

この数値が、REINS引取実績報告で入力する値となります。

↑ REINS入力値

この数値が、REINS販売実績(うち容器包装分)で入力する値となります。

↑ REINS入力値

引渡し先を入力してください。

下記の内容をご確認の上、再生処理(選別、材料リサイクル製品製造)を実施し、上表の各項目欄に記入してください。

※材料リサイクル製品製造工程で他材料を投入する場合、プロセス投入量、再商品化製品製造量、及び出荷量の記入欄には内訳として紙製容器包装の使用量を記載してください。

※引取、再生処理(選別、材料リサイクル製品製造)、出荷、引渡、処分を実施した日のみ、実施した内容に関する項目を記載してください。実施していない内容に関する項目は空白としてください。

※再生処理(選別、材料リサイクル製品製造)を実施した場合に異物等の発生量がない場合には、0を記入してください。

※日報を記載した日の各残量を確認してください。エクセル計算値と実測値に相違があった場合は、実測値を手入力してください。

※複数の再生処理施設(工場)で再生処理を行う場合には、再生処理施設(工場)毎に作成してください。

(注1)前処理異物の再資源化量 ⇒ 番線、段ボール、牛乳パック(紙パック)、一般古紙等(これらは紙製容器包装分別基準適合物ではありません)で廃棄処理せずに資源として販売するものの量。

(注2)出荷量 ⇒ 再生処理施設から販売先へ出荷する際の再生処理施設での計量値を記入します。販売先の工場での受入時の計量値等ではありません。

(注3)再生処理(選別、材料リサイクル製品製造)を実施した概略の所要時間を30分単位で記入してください。(例:再生処理時間が13時~15時30分の場合は2.5と記入)

グレー部分は、エクセル自動計算の式を組んでいます。  
エクセル計算値と実測値に相違があった場合、実測値をエクセルに手入力し、余白に相違理由を明記してください。

管理帳簿月報(平成29年度分)  
[固形燃料化]

平成29年 4月

事業者名:	△△株式会社
再生処理施設(工場)名:	△△工場

(単位:kg)

月/日	引取先 (構成事業者)	引取量(貴社 工場スケール 計量値)	プロセス投入量						プロセス投入残 (紙製容器包 装)	固形燃料化製品					所要時間 (注3)
			前処理異物				固形燃料製造工程投入量			固形燃料化 製品製造量	出荷量(貴 社工場ス ケール計量 値)(注2)		販売先	出荷残 (紙製容器包 装)	
			再資源化量 (注1)	産廃処理 対象量	処分量	処分残	紙製容器包 装	他材料			うち 紙製容器包装	うち 紙製容器包装			
前月繰越															
1日							0	0							0
2日							0	0							0
3日							0	0							0
4日							0	0							0
26日							0	0							0
27日							0	0							0
28日							0	0							0
29日							0	0							0
30日							0	0							0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

この数値が、REINS工程間移動実績で  
入力する値となります。

この数値が、REINS販売実績(う  
ち容器包装分)で入力する値とな  
ります。

↑ REINS工程間実績入力値(注4)

↑ REINS入力値

下記の内容をご確認の上、選別作業を実施してください。

※固形燃料製造工程で他材料を投入する場合、固形燃料化製品製造量及び出荷量の記入欄には内訳として紙製容器包装の使用量を記載してください。

※実施した日のみ、実施した内容を記載してください。

注1)前処理異物の再資源化量⇒番線、段ボール、牛乳パック等が該当します。紙製容器包装以外で廃棄処理せずに資源として販売するもの。

注2)出荷量⇒再生処理施設から販売先へ出荷する際の計量値を記入します。販売先の工場での受入計量値等ではありません。

注3)紙製容器包装を処理した概略の所要時間を30分単位で記入してください。(例:作業時間が13時~15時30分の場合は2.5と記入)

注4)固形燃料製造工程間投入量の紙製容器包装の数値が工程間実績入力値となります。

グレー部分は、エクセル自動計算の式を  
組んでいます。  
エクセル計算値と実測値に相違があった  
場合、実測値をエクセルに手入力し、余  
白に相違理由を明記してください。

## 当年度の販売が終了した場合の報告について

管理帳簿月報(平成29年度)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

〔選別1〕 一般用

月	引取量(市町村スケール計量値)	①引取量(食社工場スケール計量値)	②選別実施量(④+⑤+⑥)	③選別残(③+①-②)	再資源化量(注1)	産廃処理対象量	④異物		異物混入比率④/②
							処分量	処分残	
4月									#DIV/0!
5月									#DIV/0!
6月									#DIV/0!
7月									#DIV/0!
8月									#DIV/0!
9月									#DIV/0!

当年度の販売が終了した場合は販売終了を選択してください。

管理帳簿月報(平成29年度)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

〔選別1〕 一般用

月	引取量(市町村スケール計量値)	①引取量(食社工場スケール計量値)	②選別実施量(④+⑤+⑥)	③選別残(③+①-②)	再資源化量(注1)	産廃処理対象量	④異物		異物混入比率④/②
							処分量	処分残	
4月									#DIV/0!
5月									#DIV/0!
6月									#DIV/0!
7月									#DIV/0!
8月									#DIV/0!
9月									#DIV/0!

販売終了を選択すると配色が変わります。販売終了後、翌年4月以降の月報の提出は不要です。

**※販売が終了している場合でも当年度3月度までは月報の提出は必要です。**

## 当年度の販売が終了した場合について

管理帳簿月報(平成29年度分)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

[選別2] 指定保管施設を兼ねている工場用

月	①分別収集量	②選別実施量 (前選別を含む) (④+⑥+⑦)	③選別残 (①-②)	④異物	⑤引取量 (分別基準適合物) (②-④)	⑥製紙原料選別量		製紙原料 比率 ⑥/⑤	出荷量(倉 場スケー 量値)
						板紙・段ボール 原紙向け	家庭紙等向け		
4月								#DIV/0!	
5月								#DIV/0!	
6月								#DIV/0!	
7月								#DIV/0!	
8月								#DIV/0!	
9月								#DIV/0!	
上期計								#DIV/0!	

当年度の販売が終了した場合は販売終了  
を選択してください。

販売終了

管理帳簿月報(平成29年度分)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

[選別2] 指定保管施設を兼ねている工場用

月	①分別収集量	②選別実施量 (前選別を含む) (④+⑥+⑦)	③選別残 (①-②)	④異物	⑤引取量 (分別基準適合物) (②-④)	⑥製紙原料選別量		製紙原料 比率 ⑥/⑤	出荷量(倉 場スケー 量値)
						板紙・段ボール 原紙向け	家庭紙等向け		
4月								#DIV/0!	
5月								#DIV/0!	
6月								#DIV/0!	
7月								#DIV/0!	
8月								#DIV/0!	
9月								#DIV/0!	

販売終了を選択すると配色が変わります。  
販売終了後、翌年4月以降の月報の提出は  
不要です。

**※販売が終了している場合でも当年度3月度までは月報の提出は必要です。**



## 当年度の販売が終了した場合について

管理帳簿月報(平成29年度分)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了

[選別3] 指定保管施設を兼ねており、かつ他の市町村の保管施設からの引き取りも行っている工場用

月	自らが指定保管施設になっている市町村からの持込					その他の市町村からの引き取り								⑩製紙原料選別量		
	①分別収集量	②選別実施量(前選別を含む) (④+⑩+①)	③選別残(①-②)	④異物	⑤引取量(②-④)	※引取量(市町村スケール計量値)	⑥引取量(会社工場スケール計量値)	⑦選別実施量(⑤+⑥+①)	⑧選別残(⑦-②)	再資源化量	産廃処理対象量	処分量	処分残	異物混入比率 ⑨/⑦	板紙・段ボール 原紙向け	家庭紙
3月														#DIV/0!		
4月														#DIV/0!		
5月														#DIV/0!		
6月														#DIV/0!		
下期計														#DIV/0!		
年度計														#DIV/0!		

当年度の販売が終了した場合は販売終了を選択してください。

管理帳簿月報(平成29年度分)

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了

[選別3] 指定保管施設を兼ねており、かつ他の市町村の保管施設からの引き取りも行っている工場用

月	自らが指定保管施設になっている市町村からの持込					その他の市町村からの引き取り								⑩製紙原料選別量		
	①分別収集量	②選別実施量(前選別を含む) (④+⑩+①)	③選別残(①-②)	④異物	⑤引取量(②-④)	※引取量(市町村スケール計量値)	⑥引取量(会社工場スケール計量値)	⑦選別実施量(⑤+⑥+①)	⑧選別残(⑦-②)	再資源化量	産廃処理対象量	処分量	処分残	異物混入比率 ⑨/⑦	板紙・段ボール 原紙向け	家庭紙
3月														#DIV/0!		
4月														#DIV/0!		
5月														#DIV/0!		
6月														#DIV/0!		
下期計														#DIV/0!		
年度計														#DIV/0!		

販売終了を選択すると配色が変わります。販売終了後、翌年4月以降の月報の提出は不要です。

**※販売が終了している場合でも当年度3月度までは月報の提出は必要です。**

## 当年度の販売が終了した場合について

管理帳簿月報(平成29年度分)  
[材料リサイクル]

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

月	引取量<市町村スケール計量値>	引取量<食社工場スケール計量値>	プロセス投入量				プロセス投入残 (紙製容器包装)	製品製造量	うち 紙製容器包装	出荷工
			前処理異物		材料リサイクル製造工程投入量					
			再資源化量	産廃処理対象量	紙製容器包装	他材料				
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										

販売終了

当年度の販売が終了した場合は販売終了を選択してください。

管理帳簿月報(平成29年度分)  
[材料リサイクル]

当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください

月	引取量<市町村スケール計量値>	引取量<食社工場スケール計量値>	プロセス投入量				プロセス投入残 (紙製容器包装)	製品製造量	うち 紙製容器包装
			前処理異物		材料リサイクル製造工程投入量				
			再資源化量	産廃処理対象量	紙製容器包装	他材料			
4月									
5月									
6月									
7月									
8月									

販売終了

販売終了を選択すると配色が変わります。販売終了後、翌年4月以降の月報の提出は不要です。

※販売が終了している場合でも当年度3月度までは月報の提出は必要です。

**当年度の販売が終了した場合について**

管理帳簿月報(平成29年度分)									
[固形燃料化]									
当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください									
販売終了									
月	引取量(倉社工場スケール計量値)	プロセス投入量				プロセス投入残(紙製容器包装)	製品製造量	うち)紙製容器包装	出荷量(工場スケール計量値)
		前処理異物	再資源化量	産廃処理対象量	固形燃料化製造工程投入量				
4月									
5月									
6月									
7月									
8月									
9月									
上期計									
10月									

当年度の販売が終了した場合は販売終了を選択してください。

管理帳簿月報(平成29年度分)									
[固形燃料化]									
当年度の販売が終了した場合は↓から販売終了を選択してください									
販売終了									
月	引取量(倉社工場スケール計量値)	プロセス投入量				プロセス投入残(紙製容器包装)	製品製造量		
		前処理異物	再資源化量	産廃処理対象量	固形燃料化製造工程投入量				
4月									
5月									
6月									
7月									
8月									
9月									
上期計									

販売終了を選択すると配色が変わります。販売終了後、翌年4月以降の月報の提出は不要です。

※販売が終了している場合でも当年度3月度までは月報の提出は必要です。